

令和元年度 第1回 柏市環境審議会 生物部会

地球上の全ての生きものは、様々な個性を持ち、つながり合い支えあって生きている
生きものの豊かな個性とつながりが、様々な恵みを私たちにもたらしている
生物多様性の保全は私たちの生存に不可欠なものである

令和元年9月6日（金）午後3時～
柏市まちづくり公社2階会議室

生きもの多様性プランの概要

《基本事項》

- ▶ 策定年月 2011年3月
- ▶ 政策目標 生きもの多様性の保全・回復・再生
→将来的に「種の数」の回復・増加
すべての関係者による生きもの多様性保全
- ▶ 目標年次 2050年（長期目標）
※生物多様性国家戦略2010の中長期目標と整合
※中期的期間として2020年を設定 → 今回の見直し, 改訂

《重点的施策の方向性》

- ▶ 「生きもの多様性にとって重要な地区の指定と管理体制の構築」
- ▶ 「保全を要する種のリスト化とその保全」
- ▶ 「外来種防除に対する仕組み」
- ▶ 「開発における生きもの多様性を保全する制度設計」

計画進捗における課題

《進捗課題》

※施策の実施状況は参考資料を参照

開発等による生息域喪失

活動団体の高齢化，担い手不足

外来種問題の顕在化

重要地区が未指定

生きもの環境影響評価制度が未制定

主な関連施策との相関

第五次総合計画

環境基本計画

生きもの多様性プラン

地球温暖化対策計画

都市マスタープラン

緑の基本計画

生物多様性

緑地

水辺

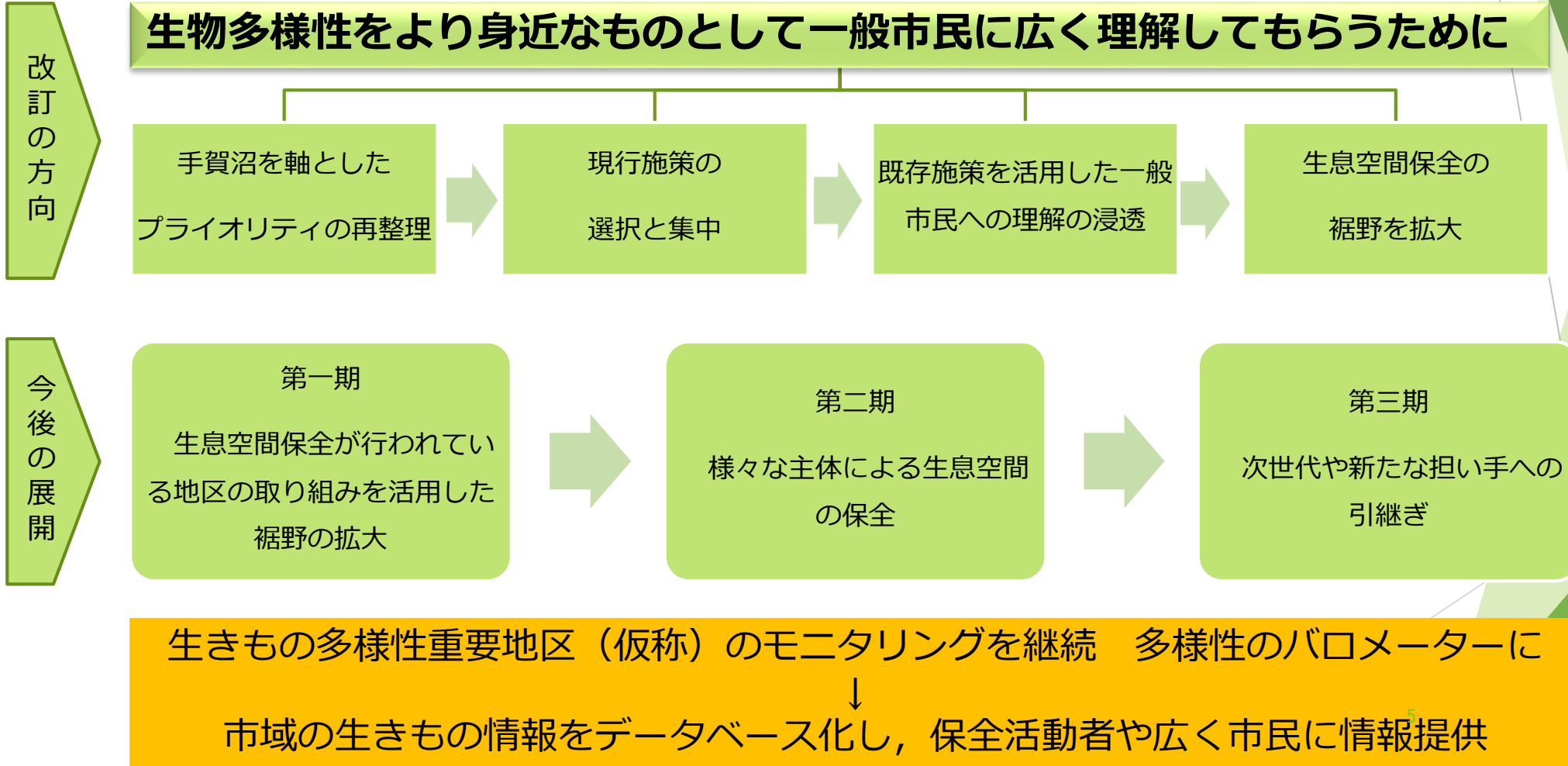
生物多様性は
自然の豊かさの
バロメーター

生きもの生息空
間を維持してい
くための基盤

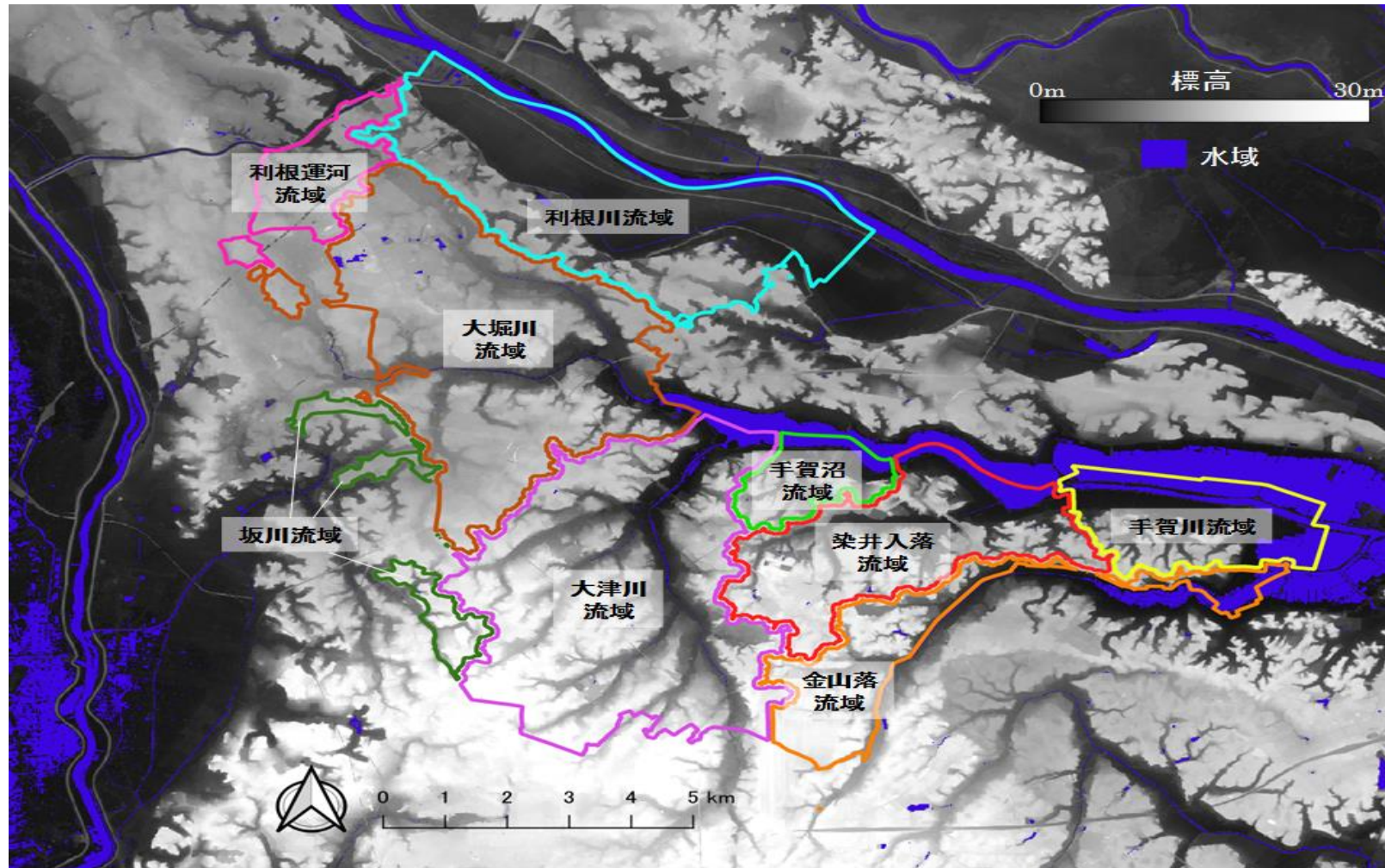
手賀沼水循環回復行動計画（県）

利根運河エコパーク実施計画（国）

今回の改訂の方向性と今後の展開



柏市の地形と流域



生物部会での検討事項（第一回）

《施策の選択と集中に向けた政策の柱としてのテーマ》

- ▶ 手賀沼流域における水環境の回復と手賀沼の魅力向上

《なぜ手賀沼なのか？》

- ▶ 柏市の緑と水辺の象徴でもある手賀沼を終着点に，その水源となる市内各地の自然環境の価値付けを行うことで，流域内の生きもの生息空間の保全を図る。
- ▶ 柏市民に身近な手賀沼と市内各地の自然環境を関連付けすることによって，普段自然環境と関わりの薄い市民にも，生きもの生息空間の保全についての理解を得やすいように方向付けを図る。

生物部会での検討事項（第二回の予定）

- ▶ 生きもの多様性重要地区制度の考え方の整理
- ▶ 生きもの生息空間保全に向けた手法の整理と行政，市民，市民団体の関わり方



《考えておいていただきたい事項》

- ▶ 柏市の自然環境の現状はどうか
- ▶ 生きものや生息空間の豊かさはどうか
- ▶ 環境保全活動者の現状はどうか
- ▶ 日常生活の中で生物多様性を身近な課題と捉えてもらうには
- ▶ 裾野拡大のための取り組みや情報発信の手法は